平成 28 年 7 月 21 日

各　位

会 社 名　プレシジョン・システム・サイエンス株式会社
代表者名　代 表 取 締 役 社 長　田島　秀二
（コード番号：7707　東証マザーズ）
問合せ先　常　務　取　締　役　秋本　淳
（TEL 047-303-4800　http://www.pss.co.jp/）

「全自動デジタル ELISA 装置開発」内閣府革新的研究開発推進プログラム参画について

プレシジョン・システム・サイエンス株式会社(以下 PSS)は、このたび、内閣府革新的研究開発推進プログラム ImPACT*に参画し、「豊かで安全な社会と新しいバイオものづくりを実現する人工細胞リアクタ」プログラムにおける基盤技術開発テーマ「全自動デジタル ELISA**装置開発」を担当することになりました。

本プログラムでは、新しいバイオものづくりを実現する人工細胞リアクタで下記のような非連続イノベーションを起こすことを目指しています。

･病院だけでしかできない臨床診断→ 感度 100 万倍の小型臨床診断装置を家庭へ！

･バイオ分子探索の低いスループット→超並列型リアクタによる超高機能分子創出

･天然細胞利用による化学的制約→ 増える細胞リアクタによる細胞の完全設計

PSS は、オリジナル技術を強みとしたバイオ診断システムメーカーとして遺伝子・タンパク質関連業界における研究施設(ラボ)の自動化や臨床診断分野向けに、DNA 自動抽出装置、全自動遺伝子診断装置、全自動免疫化学発光診断装置等の自動化システムを世界的な企業に OEM 供給している実績があります。これらの実績を踏まえた経験を活かして、PSS は本プログラムにおいて、今後 3 年間、基盤技術開発のテーマ「全自動デジタル ELISA 装置開発」を担当します。プロトタイプ機の開発により、基盤技術を支える技術的コア（各担当の技術的負担を減少）の立場から「人工細胞リアクタ」の実用化をサポートしていきます。

以上

ImPACT*
政府の科学技術・イノベーション政策の司令塔である総合科学技術・ イノベーション会議が、ハイリスク・ハイインパクトな研究開発を促進し、持続的な発展性のあるイノベーションシステムの実現を目指しています。
「豊かで安全な社会と新しいバイオものづくりを実現する人工細胞リアクタ」プログラム参照 URL
http://www.jst.go.jp/impact/program/14.html

ELISA (Enzyme-Linked ImmunoSorbent Assay)**
試料中に含まれる抗体あるいは抗原の濃度を検出・定量する際に用いられる方法です。